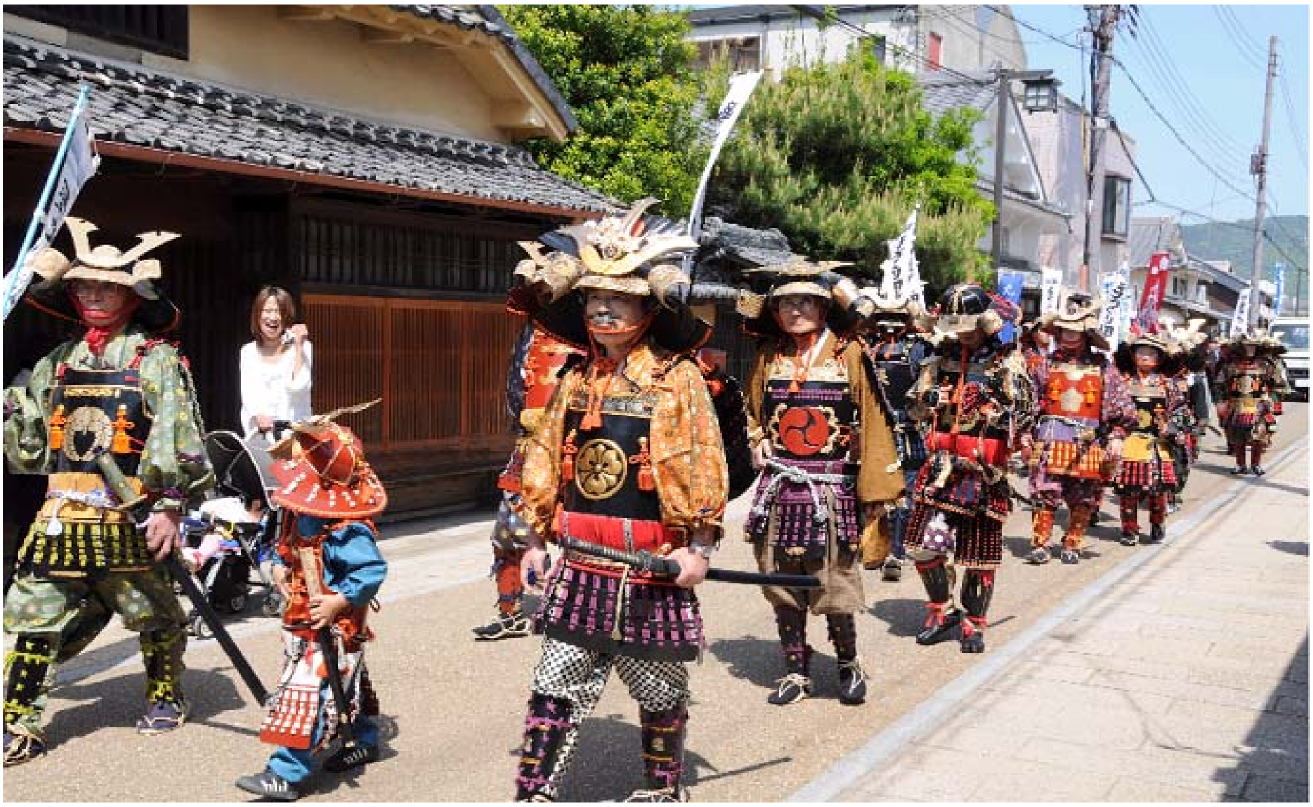
亀岡手づくり甲冑事業

亀岡手づくり甲冑の会



手づくり甲冑で城下町亀岡を盛り上げる

平成二十二年に亀山城築城四百周年を迎える亀岡市。亀岡手づくり甲冑の会は、この城下町亀岡の郷土特色を「手づくり甲冑」で盛り上げようと立ち上げられた団体で、築城四百周年までに百領の甲冑作成を目標とした活動が続いています。

「手づくり甲冑」は、工芸用のボール紙にセメント下地を塗り、丹念に重ね合わせて着色して作られます。冠紐（ゆるぎひも）を通す穴を千八百から一万カ所も開けるなど地道な作業をくり返し、完成までに約百日がかかります。専門家の助言を得た甲冑づくりを通じて、亀岡の歴史や文化を振り返り、ふるさとの素晴らしさを体感できる取組です。

平成二十年四月にはガレリアかめおかを会場に三十領の甲冑を並べた作品展を開催。家紋入りのかぶとや具足（ぐそく）など本物そっくりの作品やかわいらしい子ども甲冑が、訪れた人たちの関心を集めました。また五月三日に開催された亀岡光秀まつりには、作品を身に付けた会員が「手づくり甲冑隊」として武者行列に参加。親子での参加もあり、まつりのにぎわいづくりと共に亀岡の歴史・文化の次世代継承にも大きく貢献しています。

〈写真説明〉上段および中段上：亀岡光秀まつりへの参加　　中段下：ガレリア亀岡で開催の作品展

亀岡
手づくり
甲冑の会
Kameoka

DATA

＜連絡先＞
TEL 0771-29-5152　FAX 0771-29-5171
e-mail　kcta@kyoto-kameoka-kankou.jp
HPアドレス　http://www.kyoto-kameoka-kankou.jp/kacchuu/
＜代表者＞
八木　市次（会長）
＜設立時期＞
平成１９年３月２９日
＜会員数＞
３０名（平成２０年９月現在）
＜活動内容＞
甲冑づくり教室の開催、亀岡光秀まつりなど地域行事・イベントへの武者行列参加、展示会の開催

▲ひすとりー

H19. 3月　団体発足
H19. 11月　京都府地域力再生プロジェクトの支援を受け、手づくり甲冑教室を開講（受講者30名）。
H20. 3月　同教室終了に伴い、30領の甲冑を製作。（今後、毎年同時期に教室開講の予定。）
H20. 4月　ガレリアかめおかにおいて作品展開催。
H20. 5月　亀岡光秀まつりの武者行列に「手づくり甲冑隊」として参加。
H20. 9月　会活動を紹介するホームページ立ち上げ。

▲代表者いんたびゅー

亀岡手づくり甲冑の会
会長
八木市次さん

○発足のきっかけは？

四〜五年前に観光協会で光秀まつりの反省会を行ったとき、市民が見物するだけでなくもっと参加できる内容にすべきではないかとの意見が出されました。それで思いついたのが手づくりの甲冑を着て行列に参加することです。きっと盛り上がるし、家族などの見物も増えるのではないかと考え、二年前に理事など五人で実行してみました。

これはいけると実感したのですが、手づくり甲冑の製作には一領で三万円以上がかかります。「なかなか一般に広げるのは難しいなあ、何かよい補助制度でもないものか」と考えていたところ府の地域力再生交付金の話を聞き、これは私たちのためにある話だということで会を発足して申請することになりました。

○前から甲冑に興味があったのですか？

ないとはいいませんがそれよりも、どうしたら亀岡のまちがにぎやかになるかということを日頃から考えていまして、そのアンテナに引っかかってきたという感じです。

○現在の活動内容は？

毎年手づくり講習会を開催（平成二十年は十一月から開始予定）し、受講された方に会員になってもらい、完成した甲冑を着てイベントなどに参加してもらうということにしています。亀山城築城四百周年（平成二十二年）までに甲冑百領を揃えて、また亀岡以外で手づくり甲冑に取り組まれている方々と全国から集まっていただき、記念すべき年の亀岡を大いに盛り上げたいと考えています。

▲とぴっくす！

○亀山城築城四百周年に向けて

平成二十年五月、「時はいま…」で始まる詩吟と共に明智軍に扮した亀岡手づくり甲冑の会の面々が舞鶴田辺城の石垣の上から颯爽と登場しました。舞鶴市で行われた田辺城まつり実行委員会からの要請を受けて武者行列に参加したもので、このほか福知山市や高槻市などのイベントにも出場されています。これは実は亀山城築城四百周年に向けて、各地の方々に手づくり甲冑に興味を持ってもらい、二年後の四百周年には応援に駆けつけてもらいたいとの想いによるものです。

また、亀岡市民に向けては、親子参加により二、三日で完成できる子供甲冑の講習会の開催と子供甲冑隊の編成、小物の作成による鉄砲隊や女性隊の編成など裾野を広げる計画も進められています。

平成二十二年の亀岡は、市内から、また全国から集まった武者装束によって戦国時代にタイムスリップした印象になるかもしれません。

★広域振興局も協働しています！

私たちの南丹地域には、城下町や村落などで育まれてきた祭や文化財、郷土文化、伝統芸能、景観などの地域資源が豊富に点在しています。

「南丹地域振興計画」では伝統文化等の保存・次世代継承を通じて「多様なネットワークで結ばれ賑わいと魅力にあふれる地域」づくりを目指しています。

亀山城築城四百周年の翌年の平成二十三年には、国民文化祭が京都で開催されますが、様々な機会を活用して、地域の歴史に育まれてきた文化や景観を活かした地域づくりを住民の皆さんと協働・連携して進めることとしています。